



※フェラ音、吐息は文字化されておられません。

ナレーション	西條まどか
サダ子	近藤美香
梅子	西條まどか

サダ子

終戦後、田舎では高度成長から取り残されたように、人々がつつましく生活しておりました。これは、ある山奥の里であつたお話でございます。

昭和淫語奇談 女だけの里に迷い込んだ男

やれやれ、陽が陰って来たね。そろそろ、土いじりも切り上げて帰るとすつかな。ヒャッ！あー驚いた〜。お前さん、どっから来た？
釣り人か？
あらま、足、怪我してんじゃねえか。罾に掛かった？

ああ、あちこちに罾を仕掛けてるんだけんども。この辺りは熊も出るからな、トラバサミを仕掛けてある。お前さん、それにやられたみたいだね。
ウチの家は、あそこだから、手当してやろう。大丈夫か？もう少し、歩けるな？

これで良しと。ヒヒヒ、そんなに痛そうな顔すんな。子供じゃあるめえし。
イヒヒヒ。骨は折れてねえけど、二、三日は腫れて、動けねえと思うぞ。
この辺りは初めてか？どっから来た？あー県外からだったら、無理もねえな。
ああ、この里は罾があちこちに仕掛けてあるから、めったに人が来ねえんだ。
道が狭くて、車は通れねえし、ふもとの村まで歩いて3時間は掛るぞ。
そこまで行けばバスが週に一本は来るけどもなあ。
川を下る方が、早いかも知れんが、その足じゃ無理じゃろ〜。
電話？そんなもんがある訳ねえべ。電気も通ってねえのによお、ヒヒヒ。
ああ、ここはな、夏場だけ山仕事をする為に暮らしてる里なんよ。元々はみんな、ふもとの村に住んどる。電気もねえって聞いて、原始人みたいに思ったか？
イヒヒヒ。
ああ、男たちはもっと山奥に入ってて、一月に一回しか戻らねえ。今は女しか居ねえけんども、アンタもこんな足じゃ、悪さも出来ねえだろうから、家に置いてやるよ。ヒヒヒ。

奥深いこの里に迷い込み、トラバサミという、足を挟む罾で重傷を負ってしまいました。そこで出会った女、サダ子。
村からさらに離れた場所で炭焼きをしながら、たまに山から下りて来る男達の世話をする役目をしているのでございます。

はい、お粗末さまでした。ヒヒヒ、まあ、ご馳走って訳にもいかねえけど、結構旨かっただろ？料理は得意なんだよ、ヒヒヒ。
さてと、それじゃ、ウチは風呂に入って来るから、そこに横になってな。
ああ、夏って言っても、朝晩は冷えるからな。囲炉裏のそばで寝るといい。
その布団は使っていいから、そこで横になりな。
あ〜、風呂場、覗くんじゃねえぞ、ヒヒヒ。その足じゃ無理だよな、イヒヒヒ。
お前さんは、明日、体を拭いてやるからな。今日は疲れたろ。先に寝てな。

あーうん、あー旨い、あーチンポ、あーチンポ、ヒヒヒ、久しぶりのチンポだ。
ヒヒヒ、イヒヒヒ。多分、大きいだろうと思ってたけど、これ程迄とはな。
でっけえチンポだ。いいチンポしてる、ヒヒヒ。あつ、やっと気が付いたみたいだな。何してるんですかって？バカ、判るだろ？チンポ舐めてんだよ。言わ

せんなよ、ヒヒヒ。チンポが気持ち良くて気が付いた癖に。イヒヒヒ。
舐めさせておくれよ～。久しぶりのチンポなんだよ～。ヒヒヒ、イヒヒヒ。
抵抗しようとしたって、足が痛くて動けねえべ。じっとしてろ。
これはな、麻酔だよ。この尺八は麻酔がわりだ。ほら、チンポが気持ち良ければ
足の痛みも和らぐだろ？吸ってやる。もっと吸ってやるからな。ヒヒヒ。
もう、これくらいでいいべかな。ヒヒヒ、ビンビン、チンポがビンビンだあ。
ああ、なんも心配ねえからな。ウチに任せろ。そのまま横になってればええか
ら。うんうん、跨るからな。ああ跨って腰振ってやっから、動くんじゃねえぞ。
ハアハア、ハアハア、ヒヒヒ、大丈夫だ、大丈夫だかな、ヒヒヒ、イヒヒヒ。
ほ～ら、ほ～ら、チンポが、チンポが、マンコに飲み込まれていくぞ～。
イヒヒヒ。全部入った。う～、はあ～、あーいい、あー気持ちいい～、気持ちい
い～、マンコ、マンコ、マンコマンコ、あーマンコ、マンコ気持ちいいーっ！
あーこれだ、これこれ、久しぶり、久しぶりのマンコ、マンコ、気持ちいいーっ！
ヒヒヒ、イヒヒヒ。ヒヒヒ。
堪らねえ、これ、堪らねえ。自然にケツが動いちゃう。ケツの動きを止められ
ねえよ。あー気持ちいい、気持ちいい気持ちいい気持ちいい、マンコ気持ちいいーっ。
おーいい、おー気持ちいいーっ。お～いい、お～いいぞ～、これいいぞ～。ヒヒ
ヒ、イヒヒ。久しぶりのチンポだ。あーチンポ～、チンポ～、チンポ～。チン
ポいい、チンポ気持ちいい、チンポいいよ～。極楽だ、極楽。ヒヒヒ。あーチン
ポいい、チンポいい。極楽、極楽だよ～、イヒヒヒ。
ああ、男が山に入ってる間は、これが出来ねえから、オカシクなりそうだった
んだよ～。久しぶり、本当に久しぶりなんだ。
いいだろ？楽しませておくれ。お前さんのチンポでマンコを喜ばせておくれよ。
好きなんだ、これするのが好きなんだよ～。お前さんも嫌いじゃ無いだろ？
肉遊び、嫌いな訳ねえよな、ヒヒヒ。
あー来た、来た来た、気持ちいいのが、気持ちいいのが来た。堪らん、これ堪らん、
あーイク、イクイクイク、マンコいく、マンコいく、マンコいく、あーダメだ、
イッちまう、マンコがイッちまう、あーイクイクイクイクイク、イクイクイク
イクイク、マンコマンコマンコ、マンコマンコマンコ、マンコがイク、マンコ
がイク、あーイクぞ、イクぞ、ああああああああ、ああああああ、マンコがイ
クーっ！

旦那は山に入ったつきり帰って来ないという、男日照りの身の上のサダ子。
毎日毎日、炭焼き小屋で火の番をするだけの単調な作業に退屈していたサダ子
にとって、久しぶりの交わりでございました。
この男、最高の遊び相手でございます。

悪だくみ

あーいい、あーいい、チンポ～、チンポ～、あーチンポ～、チンポが入ってる、チンポが入ってる～。気持ちいい～、気持ちいい～、ヒヒヒ、イヒヒヒ。足がこんな具合でも、チンポは朝から元気だな。ヒヒヒ、朝立ちチンポ、朝立ちチンポは格別だよ。イヒヒヒ。昨日は、ウチが果てたまま、気を失っちゃったから、チンポ汁、出せなかったんだろ？悪かったよ～。あんまり久しぶりで、気持ちすぎたんだよ。ヒヒヒ。ああ、お詫びに今日はたっぷり絞り取ってやるからな。ああ、金玉がカラカラになるまで、抜いてやる。チンポ汁を抜いてやるよ、イヒヒヒ。足、大丈夫か？痛くねえか？

チンポの気持ち良さの方が勝ってるよな、ヒヒヒ。もっとケツ振っていいか？ケツ振りてえ、ケツ振って擦りてえんだよ。あー擦れる、擦れる、チンポがマンコの肉を擦って来るよ。あーいい、これこれ、堪んねえ、あー堪んね～っ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。お前さんも腰振りてえだろうけど、そんな足じゃ無理だろ？暫くは、ウチが動いてやるからな。心配せんでもええ。ん？そのままじゃ、イクのがツレえか？この格好、慣れてねえのか？出すのが辛かったら、手でしてやるぞ。手の方が出しやすいかもな。ああ、シゴいてやる。シゴいてやる。チンポを手でシゴいてやるからな。ああ、シゴいてチンポの汁を出させてやる。気持ち良くしてやるからな。

だから、その前に、ウチからイカせてくれ。ああ、もうイキそうなんだよ。マンコが痺れて来た、痺れて来たんだ。ああ、痛くねえ様に、腰をグリグリさせるだけだ。ああ、こうしてグリグリ擦り付けるだけだったらいいだろ？

痛くねえだろ、ヒヒヒ、イヒヒ、あーいい、あー気持ちいい気持ちいい気持ちいい、あー堪らん、堪らん、チンポ堪らん、あーイクイクイク、あーマンコいくっ、マンコいくっ、あーイクイクイク、イクイクイク、我慢出来ねえ、我慢出来ねえ、アーイクイクイクイク、マンコが～、マンコが～、マンコがいくっ！

フウっ、ハアハア、フウっ、ヒヒヒ、イヒヒヒ。果てた。ヒヒヒ、果てちゃったよ。うん、良かった。マンコ、スゲエ気持ち良かったよ。さあ、今度はお前さんが果てる番だ。ああ、チンポシゴいてやる。シゴいてやるよ。ほーら、ほーら、こんな感じでいいか？気持ちいいだろ～。これ位強くシゴいたら、出せそうだろ？もっと速え方がいいのか？もっとか？もっと速く擦るのか？ヒヒヒ、そうかそうか、これだな。これが気持ちいいんだな。ああ、してやるぞ、ほらほら、シコシコ～、シコシコ～。シコシコ～、シコシコ～。あーチンポが、チンポの先が、赤く膨らんで来たよ。

亀頭が張って、テカテカになった。もう爆発しそうなんだな。いいぞ、いいぞ、出せ出せ、気持ちええから。気持ちええから、漏らしちまえ。チンポ汁を出せ。ほらほら、ほらほら、ほらほらほら！

ひ～ッ、出た出た、チンポから白いのがドクドク出て来た、ヒヒヒ、イヒヒヒ。
出てる出てる、汁が出てるよ。気持ちいいか？チンポ気持ちいいか？遠慮するな、
出せ出せ、全部出せ。ほら、最後まで出すんだよ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。
出したか？これで全部か？あー随分、たっぷり出したな～。ドロドロで濃かつ
たから、飛散らずに済んだけど、ほら、右手にべっとり垂れた汁が付いてる。
あードロッドロッドだよ、ヒヒヒ、ズルっ、ズルっ。
ヒヒヒ、フンフン、スースー、あー臭せえ、男汁臭せえ、
ヒヒヒ、イヒヒヒ。あードロドロ、ドロッドロッドだよ。食べるぞ、お前さんの
子種汁、食べるかな。ズズッ、ズズッ、ズズーっ。あー旨い、旨い、旨い。
ヒヒヒ、あー旨かった。いっぱい出したなあ。気持ち良かったか？
チンポを可愛がってる間は、足の痛みも忘れるだろ？良かったな。
ちょっと休憩したら、またしてやる。ヒヒヒ。今度は直接飲んでやる。ああ、
そのままチンポに吸い付いて飲んでやるからな。チュウチュウしてやる。吸い
取ってやる。ヒヒヒ。ほら、チンポを拭くついでに、体も拭いてやろう。今晚
は湯に浸かせてやるから、今は拭くので勘弁な。

おはよ～。サダちゃん、居るかい？
ヒヤッ！どうした？
その男は誰だ？サダ子！何してる、オメエ。

この女は、サダ子と共にこの里に炭焼き当番に来ている、幼馴染の梅子。
サダ子同様、好色な女でございます。

ヒヒヒ、梅ちゃん、ビックリするこたぁねえよ。この人は釣りに来ててな、
ほら、罾のトラバサミに掛かって怪我をしてっから、ウチの所で休ませてるん
だよ。あっ、こ、これか？これは今、体を拭いてやってた所だよ。
な、別に何にも変な事してねえよ。

ヒヒヒ、本当か？
怪しいな。もう喰っちまったんじゃねえのか？イヒヒヒ。

バカ言うんじゃないか！ヒヒヒ。
あっ、こいつは、ウチの幼馴染の梅。
梅子って言って、一緒に村から出て来てるんだ。

そうかそうか、ヒヒヒ、梅ちゃんって呼んどくれ。あーでも、男前だ～。

いい男が紛れ込んで来たもんだな。イヒヒヒ。足を怪我してんのか。
そりゃ災難だったな。あー凄い腫れだ〜。これは暫く歩けねえな。
まあ、歩けるようになるまでゆっくりしてろ。
ああ、今、ここにはオラたちしか居ねえから、気を使う事はねえ。
あつ、そうだ！サダちゃん、薬草を取りに行け。ほら、あれを煎じて塗ったら、
腫れも引くぞ。それがいい。ああ、今からだ。早ええ方がいいぞ。
あつ、それからサダちゃん、ちょっと来い、こっちこっち。
ヒヒヒ、サダちゃん。何もしてねえなんて言ってたけど、もう喰っちまったん
だろ？白状〜、どうだ？アッチの方は？

ヒヒヒ、バレてたら仕方ねえな。ああ、デケえチンポしてるよ。いいモノ持つ
てる。久しぶりの上玉だ〜。
するか？梅ちゃんも味見するか？

当りめえだろ。だから、薬草取りに行けって言ったんだよ。
ああ、行ったふりでええから、ちょっと表に出てな。
その間に、スケベ、させてくれ。いいな。

はいはい、判ったよ。あんまり、激しくすんなよ、怪我してんだからな。
イヒヒヒ。あつ、でも、さっき抜いちまったばかりなんだよ。ああ、チンポの
汁を抜き取った。大丈夫かね。

ヒヒヒ、心配するな。楽しみ方はいくらでもある。
オラがどんな事するか、覗いて見な、イヒヒヒ。

梅子

あーすまねえな。サダ子は薬草取りに行ったよ。
さてと、スリコギ、スリコギは？つと。
ん？ああ、ちょっとスリコギを借りに来たんだよ。
あつ、あつたあつた。ヒヒヒ。年季が入ってるだろ？これ使って楽しむんだよ。
何をとって？言わせるのか？オメエ。ヒヒヒ、マンズリ、マンズリだよ。
これをマンコに突っ込んで楽しむのさ。ああ、こんな山里じゃ、楽しみって言
ったらこれ位しかねえからな。
でも、今日はいいズリネタがあるから、楽しそうだ、イヒヒヒ。
なあ、チンポ見せてくれよ。チンポだよ、チンポ。チンポ見ながらマンズリを
コキてえんだ。いいだろ？減るもんじゃ無し、チンポ位、見せておくれよ。

マンズリするのに、オカズが欲しいんだよ～、イヒヒヒ。
ほら、オラもマンコ見せてやる。股広げてマンコを見せるからさあ。
ヒヒヒ、イヒヒヒ。ほら、マンコだよ、マンコ。使い込んで黒ずんではいるけども、ほら、ビラビラを広げたら、中はまだ桃色だべ、ヒヒヒ。
この穴にスリコギ突っ込んで遊ぶのさ。
まずは、先をこのマンコ豆に擦り付けて、グリグリするんだ。
あ～気持ちいい、あ～気持ちいいよ。ああ、指で擦るより、スリコギで擦る方が気持ちいいんだ。あ～気持ちいい、あ～いい、あ～気持ちいいよ～。ああ、男のチンポで擦られてるみてえでな、気持ちいい。ヒヒヒ。
普段は、指で擦ってる。ああ、したくなったら、どこでもマンコを擦るんだ。この里には、オラとサダ子しか居ねえしな。マンズリやり放題だよ、ヒヒヒ。
あ～気持ちいい～、豆気持ちいい～、あ～豆気持ちいい～。こうしてマンコ豆を擦ってるとな、ほら、マンコから汁が出て来るだろ？そうしたら、もうハメ時だ。
ああ、今度はスリコギを入れて楽しむ番だ。ヒヒヒ。
あ～いい、あ～入れるぞ、スリコギ入れるぞ。あ～入った、あ～入った、あ～気持ちいい、マンコが気持ちいい～。
ヒヒヒ、ヒヒヒ、見えるか？もっと良く見ろ。入ってんぞ、スリコギがマンコに入ってる。ヒヒヒ、ヒヒヒ、気持ちいい、ああ、とっても気持ちいい。ヒヒヒ。
あ～いい、この太さが丁度いいんだ。あ～マンコいい、マンコが気持ちいいよ～。
ほら、見て見ろ。スリコギをマンコに入れたり出したり、入れたり出したり、あ～いい、あ～これ、あ～これこれ、これ気持ちいい～、スケベしてるみてえだ。
あ～チンポ、チンポをマンコに入れて、スケベやってる気分だよ～。
おや、おや、おや、おや、ヒヒヒ、我慢出来なくなって、オメエもチンポが勃起したみてえだな。チンポがおっ立ってるじゃないか。
興奮してんのか？オラのマンズリで興奮したか？もっと、チンポを良く見せてみろ。ほう、なかなか立派なチンポしてるじゃないか。スリコギにも負けねえ太さだな。シゴいてみろ、ほらほら、おめえもセンズリしたくなかったんだろ？やれやれ！チンポ、シゴけ！センズリ、センズリこけ！
あ～チンポ、あ～チンポだ、チンポシゴいてる。チンポをシゴいてるよ。
あ～チンポチンポチンポ、チンポだ、チンポ。ヒヒヒ、凄げえな。久しぶりに本物のチンポを見てるよ。ズズーっ、ひひひ、いけねえ、よだれが出ちまった。
なあ、舐めていいか？チンポ、舐めさせておくれよ。
いいだろ？チンポ、舐めてえ、チンポが舐めてえんだよ。
ヒヒヒ、大丈夫。足には触らねえから。ああ、啜えるだけだ。
いいだろ？しゃぶらせてくれ。ウグッ。あ～美味しい、あ～美味しいチンポ、あ～チンポ美味しい。ヒヒヒ、固くなって来たな、芯が入ってきたみたいだ。

気持ちいいだろ？いいチンポだ。ああ、いいチンポしてる。
フンフン、でも、チン毛が精子臭せえな。出したのか？さっき、サダ子相手にチンポ汁出したんだろ？正直に言いな！ヒヒヒ、イヒヒヒ。
やっぱりな。でも、さっき出したばかりだというのに、こんなに勃起させちゃって。オメエも元気だな。するか？ヒヒヒ、出来るんだろ？
マンコマンコ、オマンコやろうや。
スケベだよ。スケベ。スケベして、マグわって楽しもう。いいだろ？
やりてえんだよ、マンコがやりてえ、やりてえ～、疼いてるんだよ～。
あーもう我慢出来ねえ！乗るぞ。乗っかってハメるからな。ハアハア、ハアハア、跨るぞ、ああ、チンポをハメるだけだ。心配ねえ。チンポだけ気持ち良くしてやる。ああ、オラのマンコで気持ち良くしてやるからな。ヒヒヒ。あーっ、ほら、スルって入ったじゃないか。スリコギでマンコを湿らせておいたから、チンポ、スルって入った。ヒヒヒ。いいだろ？気持ちいいだろ？
ヌルヌルして、湿ってるだろ？ああ、そのままでいい。オラが動く、オラが動くからな。あーいい、あーいい、これだこれだ、久しぶり、久しぶりのチンポだ。あー違う、やっぱりスリコギと全然違うよ。
あー気持ちいいっ、チンポ気持ちいいっ。ヒヒヒ、イヒヒ。オメエも元気いいなあ。サダ子ともやったばかりなんだろ？それで、この元気なんだから、感心するよ。好きか？オメエ、スケベが好きか？
オラあ、スケベな事が大好きだ。スケベ大好き。ヒヒヒ、スケベの事ばかり、考えて生きてる。なあ、オメエも好きなんだろ？スケベが好きなら、暫くここに居ろ。ああ、面倒みてやる。何もせんでええ。スケベさえしてくれたら、飯だけ喰って、遊んでればいいんだ。
好きな釣りだけして、暫く遊んでいけ。ヒヒヒ。あーいい、あーいいよ、オマンコ気持ちいい、オマンコが気持ち良くなって来たよ～。あーイキそうになってる。おかしいな、そろそろイキそうだ。ヒヒヒ。
久しぶりのスケベだから、興奮してるみてえだ、ヒヒヒ。
なあ、イッてもいいか？このまま、果てちゃってもいいか？すまん、先にイかせて貰うよ。ああ、大丈夫だ。自分で動く。自分で動くからな。
あー来た来た。気持ちいいの来た。あーイクイク、イクイクイク、イクイク、イクぞ～、イクぞ～、あーイクイク、あーホントにイク、あーチンポ凄けえ。
チンポ凄けえ、あーチンポチンポ、チンポいい、チンポいい、チンポいい、チンポいい、あーチンポチンポ、チンポチンポチンポチンポチンポ！チンポ好き、チンポ好き！
ん？声が大き過ぎるって？バカ、誰も居やしないよ。気持ちいいんだから声も出る。ヒヒヒ、オラもう我慢出来ねえんだ。イクよ、イクよ。あーイク、あーイ

ク、マンコいく、あーイクイク、イクイクイクイクイクイクイクイク、マンコ、マンコ、あーマンコマンコマンコマンコ、あーもうダメだ〜、気持ちいいの来た、来た来た、あーイグイグイグ、イグイグ、イグイグイグイグイグイグ、オマンコ、オマンコ、オマンコ〜、オマンコ〜、オマンコイグ〜っ！
ヒヒヒ、ヒヒヒ、イヒヒヒ。あー興奮した。やっぱり、男とするスケベは興奮するわ〜。ヒヒヒ、またしような。ああ、またヤリに来るから、相手にしてくれよ、イヒヒヒ。

以来、この肉の交わりは休むことなく毎日続くのでありました。

乱交無間地獄

ハアーいい、ヒヒヒ、イヒヒヒ。ハア〜それ、それぞれ、それいいよ、それ気持ちいい、ハハハ、ハヒヒヒヒ、気持ちいい気持ちいい気持ちいい、オマンコオマンコ、オマンコ気持ちいい。ヒヒヒ、あーこの格好、気持ちいいよ。だいぶ、足の調子もいいようだな？まだ痛てえか？でも、こうして、立ったままハメれるようになったんだから、良かった良かった。ヒヒヒヒヒ。ウチ、これ好きなんだ。後ろからハメられるヤツ。ああ、犬みたいに後ろからチンポハメられるのが大好きなんだよ。あーいい、あー突いとくれ、もっと突いとくれ。あー気持ちいい、マンコが気持ちいい〜。ヒヒヒ、イヒヒヒ。あー擦れる擦れる。チンポがマンコの肉を擦ってるよ。自分で腰を動かすのもいいけど、男にチンポで突いて貰うのは最高だ〜、やっぱりオマンコはこうでなくちゃな。イヒヒヒ。ああ、乳も揉んでいいぞ。好きなだけ揉め。あー乳首、乳首も気持ちいい。あー乳首、乳首も好きなんだよ。痛くねえか？大丈夫か？ん？チンポの気持ち良さで、痛みを忘れるって？

ヒヒヒ、お前さんも言うようになったな、イヒヒヒ。あっ！今のそれ！今のそれ、気持ちえがった、それいい、それしてくれ、ああ、それだ。それ気持ちいい、あーそれ気持ちいい。もっとして、それもっとしてくれ。ハハハ、ヒヒッ、ハヒヒヒ、それいい、それ気持ちいい、気持ちいい〜、これこれ、あーこれ好き、これ好きだ、これ好きだ、あーこれ気持ちいい、あーもっとそれして〜、ヒヒヒ、イヒヒヒ。ん？ホントにスケベが好きな女だなんて？あら、嫌だよ。オマンコの事をスケベだなんか言ったりして。ヒヒヒ。

梅か？梅ちゃんが言ってたって？ヒヒヒ、アイツ、オマンコする事、スケベって言うもんな。ヒヒヒ、スケベ、スケベ、イヒヒヒ。ああ、そうだよ。スケベが大好きだ。ウチはスケベしてる時が一番幸せなんだよ。こんな楽しみ、他にねえもんな。お前さんが来てから、毎日やってんけど、こればかりは飽きねえ。あーしてくれ、してくれ、もっとスケベ、もっとスケベ頂戴、スケベして

おくれよ。ヒヒヒ、アヒヒヒ。普段はスリコギでマンズリしてるだけだとも、やっぱり、スケベはいいなあ。スケベは気持ちいい、スケベ楽しい、あー楽しい。イヒヒヒ、あーいい、あーいいぞ〜。そろそろ、イカせてくれ。ああ、この格好のまま、激しいのをオミマイしておくれよ。突き捲って欲しいんだよ、ああ、マンコが痺れる位、激しいヤツをな。ああああああ、ああああああ、あーそうだそうだ、それだ、それだよ。ああああああ、ああああああ、マンコいい、マンコいい、マンコいい、マンコ気持ちいい、マンコ気持ちいい、マンコマンコマンコ、あーマンコマンコ、あーもうダメだ、イクイク、イクイク、マンコイクイク、あーイクぞ〜、イクぞ〜、あーイクイクイク、あーイクイクイク、イクイクイクイクイクイク、マンコいくーっ！

どうした、遠慮しねえで喰え、喰え！
干してた猪肉を戻した味噌焼だ。うめえだろ。
ああ、これ喰うと精が付く。ヒヒヒ、そうだ、精が付いて、チンポがビンビンになるんだよ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。さあ、喰え喰え、もっと喰え。
後から梅も遊びに来るってよ、ヒヒヒ。今晚は三人で楽しもうじゃないか。
ああ、またスケベするぞ。三人でな、しゃぶったり、擦ったり、ヒヒヒ、気持ちいい〜スケベするんだ。楽しみだよ〜、ヒヒヒ、今晚は寝かせねえからな、たっぷり、チンポで仕事して貰うぞ、イヒヒヒ。
何？そんなにチンポは立たねえって？
バカ言うな。この猪肉喰ったら、ビンビンになるって言ったべ？
ん？そうでねえで、ヤリ過ぎでチンポが痛てえのか？ヒヒヒ、甘えた事言う奴だな。ちゃんと、こうしてメシを喰わせてやってるだろ。チンポの痛てえの位、我慢しな。スケベが出来ねえんなら、世話しねえぞ。
ん？帰りたい？何？その足で山を下ろうってか？
何言ってる。まだ無理だべ。暫くして、少し歩けるようになったら、ウチらが肩貸して、ふもとまで連れて行ってやる。ああ、連れて行くから心配するな。いいだろ、スケベしてえんだ。もう少しウチらの相手をしておくれよ。
ほら、股広げたぞ。たまにはお前さんの方から、舐めてくれよ。マンコ舐めてくれ。ああ、マンコを舐めるんだよ。ああ、そうだ、もっと舌を使ってマンコをいい気持ちにさせてくれよ。あー気持ちいい、あー気持ちいいよ。ああ、マンコ気持ちいい、マンコ気持ちいい、舐めろ、舐めろ、もっとマンコ舐めろ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。

その夜は梅子も加わり、三人での交わりです。男は既に肉奴隷と化し、精液を絞り取られる毎日。女達の性欲は留まる所を知らず、今日だけでも3回目のス

ケベでございます。

サダちゃん、邪魔するわよ。
ん？どうした？猿ぐつわなんかさせて。

ああ、これか？
今日は朝から、足はもう治ったのだ、家に帰りてえだのウルセえから、猿ぐつわをしてるんだよ。

ヒヒヒ、そんな事か。それじゃ、マンコを舐めさせるのは無理だね。
まあ、オラはチンポがハメられりゃ、それでいいがな、イヒヒヒ。
オメェも、そろそろ観念したらどうだ？逃げようたって無駄だよ。腫れが引いたって言っても、そんな足を引きずる状態でそう長くは歩けないんだろ？
それに里を出るには、あちこちに仕掛けてある罠を避けなきゃならねんだ。
痛めてる左足が、もう一回トラバサミに掛かったら、どうする？
今度は骨が砕けるよ。運よく右足だったとしても、そうなっちゃったら、いよいよ松葉杖でも無けりゃ立ってらんないよ～。
あーおつかねえ、おつかねえ。イヒヒヒ。
判ったら、逃げようなんて了見起こすんじゃないよ。
オメェは、ずっとオラ達とマンコしてりゃいいんだよ、ヒヒヒ。

ほら、梅ちゃんもそう言ってるだろ。
そうだよ、何も働かんでええ。
飯は食わしてやるし、ウチらが炭焼きしてる時は、好きな釣りでもして遊んでればいい。お前さんは、ウチらに、チンポさえ突っ込んでくれたらええんじやから。イヒヒヒ。

そうそう。こうして跨って腰を振らせてくれりゃいいのさ、ヒヒヒ。あーいい、あーマンコが痺れる、マンコが痺れるよ～。あー気持ちいい、マンコ気持ちいい～マンコ気持ちいいよ～、堪らね～、これ堪らんよ、あ～漏れとる、漏れとる、マンコから汁がダダ漏れじゃ～。
聞こえるか？ほれ、ニチャ、ニチャ、ニチャ、ニチャ、スケベな音がしとる。あーニチャニチャ。ニチャニチャ。腰が止まらんのだよ。
あああああ、あああああ、気持ちいい、気持ちいい、マンコが気持ちいい～。
ヒヒヒ、イヒヒヒ。あーあー、恥ずかしいよ～、マンコの汁、マンコの汁が、出て来るんだよ～。ヒヒヒ、滑りがいいだろ？滑りが良すぎるか？ヒヒヒ。

あーホントだ。梅ちゃんのマン汁でチンポがヌルヌルになっとるよ。
ヌルヌルチンポを梅ちゃんが尻振って、出し入れするもんだから、泡立って白くなってる。
あー凄げえ、凄げえ、チンポが真っ白だ～。べっとり、カスが付いとるよ～。
梅ちゃん、舐めて欲しかったら、ウチが舐めてやるよ。ああ、繋がってる所に頭突っ込んで、出て来たカスをマンコ汁まみれのマンコとチンポをねぶり取ってやる。ああ、ねぶり回してやるよ～。イヒヒヒ。
舐めてほしいだろ？舐めてやる。マン汁舐め取ってやる。
あーでも、マン汁まみれの方が、出し入れしてて気持ちええだろ？湿ったマンコ肉は最高だ。ほらほら、ウチの方も見てくれ。自分でしてる、自分でしてるんだ。もう、我慢出来ねえで、マンズリこいてんぞ。
ほらほら、擦ってるぞ、擦ってる、マンコ擦ってる。あー気持ちええ、気持ちええぞ。お前さん達の繋がってるとこ見ながら、マンコ擦ってんだ。あー興奮する。あースケベしてるとこ見ながら擦るの、興奮する。ヒヒヒ、イヒヒ。もっと見せろ。もっとチンポとマンコが繋がってるとこ、見せろ。見せてくれって。

ヒヒヒ、こうか？こうか？これなら良く見えるべ。上下に大きく尻を振ってやろう。これでどうだ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。
刺さってるぞ、ほら、チンポがマンコに刺さってる。あーいい、あーこうして、尻を叩き付けるんだ。これいいぞ、これ気持ちいい～。ああ、ペッタン、ペッタン、餅を付いてる要領だ。あー気持ちいい、気持ちいい気持ちいい気持ちいい。
ヒヒヒ、いいぞ、いいぞ～。これいいぞ～。

あー判る判る、腰が止まんねえんだよな。パンパン、音してる。
ヒヒヒ、梅ちゃんの白い尻は、ホントに餅みたいだな。尻タブが吸い付くみてえに揺れてるよ。

何だ～？尻がデケえって言いてえのか？ヒヒヒ。
なあ、サダちゃん。舐める前に、尻を叩いてくれ。
ああ、尻を叩かれると興奮するんだ。叩いて。
尻を叩いておくれ。

ヒヒヒ、イヒヒヒ。こうかい？これでいいかい？あー揺れる揺れる、ウチが叩くたんびに、プルン、プルンって、揺れとるよ。ヒヒヒ、ヒヒヒ。

あー気持ちいい、気持ちいい、叩いて、あーもっと叩いて、あー気持ちいい、あー気持ちいい、尻いい、尻気持ちいい、尻が気持ちいい〜。あー興奮する、ああ、凄げえ興奮する。あー叩け、叩け、もっと叩け。ひい〜っ、気持ちいいーっ。

ヒヒヒ、梅ちゃん、アンタ。尻も感じるみたいだな。それじゃ、これはどうだい？ほら、尻の穴に指入れたぞ。尻の穴をホジってやろう。ほらほら、ほらほら、ここも好きなんじゃないのかい？

あーホジってる、ホジってる。尻の穴をホジられてる。ヒヒーっ、それダメ、それ弱えんだ。あーでも、ヤメるな。続けて、あー続けてくれ、それもいい、それもいいんだよ。もっとホジってくれ。ああ、指を曲げて、引っ掻く様に擦ってくれ。あーそう、あーそう、気持ちいい、気持ちいい、いいっ、いいっ、ケツ穴気持ちいい、気持ちいい気持ちいい気持ちいい、ケツケツ、ケツ穴気持ちいいーっ。

あー噴き出した。マンコ汁が噴き出して来たぞ。あーもう、舐めてやろう。マン汁を舐めるぞ。ああ、尻の穴をホジりながら、ねぶってやる。あうっ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。なんだなんだ、後から後から、汁が出て来るよ。キリがねえな、まったく。そんなに尻の穴をホジられるのが堪んねえのか？ケツいいか？

あーいい、あーいいよ。知らなかった。ケツ穴がそんなに気持ちいいなんて、知らなかったよ。あーサダちゃん、サダちゃん、ハメさせてくれ。チンポ、チンポ、チンポをケツ穴にハメさせてくれよ。いいだろ？欲しくなった。ケツ穴にもチンポが欲しくなったんだよ。ケツにチンポ、ケツにチンポをハメさせてくれ〜。

ヒヒッ、あらまあ〜、とんでもねえ事、思いついたな、おめえ。入れるのか？今、マンコに入れてる、この極太チンポをケツ穴に入れようってんだな？ヒヒヒ、ヒヒヒ。あーいいよ、見てえ。見てえ。ウチも、チンポがケツ穴に刺さってるとこ見てみてえよ。入れな、入れな。チンポ入れてみな。

ああ、入れる、入れる。チンポ、ケツ穴に入れるからな。よいしょっと。ヒヒヒ、ああ、大丈夫だ。痛くねえ、ああ、痛くねえよ。あああああ、あああああ、あー入った。ケツの穴に入って来る。あーメリメリって入って来た。あああああ、おおおおおお。ヒヒヒ、イヒヒヒ。サダちゃんが、指でほじってくれたから、チンポがズッポリ収まっちゃったよ〜。あー変な気分だけんども、凄げ

え、興奮するよ。ケツマンコ、ケツマンコだ。いい一つ、これいい一つ、ケツマンコいい一つ！

ヒヒヒ、イヒヒヒ。

凄げえ、凄げえ。梅ちゃんの尻にチンポが突き刺さってるよ～。

あー卑猥だ、卑猥な格好だ。ヒヒヒ。

梅ちゃん、お前凄げえな。気持ち良くなる為だったら、何でもするのな。

とんだ変態だよ。ヒヒヒ。

ああああああ、ウウウウウ、あーいい、これもいいよ。ケツの穴がジンジンする。あ～ジンジンするんだ。気持ちいい～っ。あーいい、ケツ穴気持ちいい～。

あーもうダメだ。サダちゃん、サダちゃん！オラ、もうダメだ。イクイク、もうイク、あーイキてえ、イキてえ、ケツ穴で天国さ、イッちまうだ。

あーケツケツ、ケツいい、ケツいい、ケツケツケツ、ケツケツケツ、ケツが気持ちいい、ケツが気持ちいい、あーケツ気持ちいい～。

おおおおおお、ああああああ、イクっ、イクっ、おおおおおお、おおおおおお、ケツマンコ、ケツマンコ、おおおおおおおっ。イクイクイクイクイク、イクイクイクイクイク、マンコマンコマンコマンコ、マンコイクーっ、マンコイクーっ、あーもうダメだ～、イクっ！イクっ！イグーーーッ！

お～～、お～～。ふう～～っ。イッた～、ケツ、イッた～。ケツ、イッた～。ハアハア、オウオウ、あーいい、あーえがった～。ヒヒヒ、イヒヒ。イヒヒヒ。

あー凄げえ、イキっぷりだったな～、梅ちゃん。ケツの穴でイクなんて、大したもんだよ。ウチにはマネ出来ねえよ、ヒヒヒ。でも、回数だったら負けねえよ。ああ、ウチもマンコだったら、何回でも大丈夫だ。

ほら、梅ちゃんは、ちょっと休んでろ。今度はウチがチンポハメて楽しむからさ、ヒヒヒ。スケベは何回やっても、底がねえ。そうだな、ウチもそのまま、跨ってやるよ。跨ってチンポをハメる。但し、出し入れはせんぞ。

ああ、このまま擦るんだ。腰をグリグリ擦り付けてやる。擦り付けて楽しませて貰うよ。初めての晩にしたよな。ウチ、これが好きなんよ。腰をグリグリするのが好きなんや。どっこいしょっと。

ヒヒヒ、おやおや、さっき食べた猪肉が効いてるのかね。

チンポはまだまだ元気だ。ああ、ビンビンにおっ立ってる。ヒヒヒ、イヒヒヒ。

あーチンポ、チンポチンポ。あーどうだ、気持ちいいか？グリグリ、グリグリ、尻を上下に擦り付けてるぞ。

ひひひ、マンコが擦れる、あー擦れる、これいい、これも大好きだ。あー擦る

の気持ちいい。あー気持ちいいっ。ヒヒヒ、イヒヒヒ。
あー、マン毛がチン毛と擦り合わさって、ジョリジョリ言ってんな。ヒヒヒ。
あースケベだ、スケベな音だよ〜。あーいい、あー気持ちいい。ヒヒヒ、イヒヒヒ。
気持ちいいなあ、これ堪らんなあ〜、どうだ？どうだ？
あー、猿ぐつわをされてるから、話せんかったな。ヒヒヒヒ。お前さんがいけないんだよ。帰りてえ、帰りてえ、なんて言うからさ。
あんまり、聞き分けのねえ、童みてえな事言うと、そこの杵でぶっ叩くぞ。
脚の骨を折ってやろうか？ヒヒヒ。
そしたら、もう歩いて帰れねえもんな。ヒヒヒ。
あー、あー、どうした？チンポが、チンポが固くなったぞ。ウチのマンコの中で、チンポが固くなって来た。嬉しいのか？杵でぶっ叩かれてみてえのか？
ヒヒヒ。そうじゃ、ねえよな。お前さん、おっかなくなってるだろ？
怖えか？怖えんだろ？人間はな〜、死ぬかもって思うと、チンポが立つらしいぞ。もう死んじゃうと思うと、子孫を残す本能がチンポを勃起させるそうさ。
あー、昔、熊に襲われて死んだ男の死骸を見た事があるんだよ。その男のチンポも勃起しとった。カチンコチンに立ったまま、死んどったよ、ヒヒヒ、イヒヒヒ。イヒヒヒ。
あー思い出したら、興奮して来たぞ。興奮して来た。あーチンポチンポ、勃起したチンポ、勃起チンポ、勃起チンポ。
あーイク、あーイクっ、イクイク、イクイク、あーマンコ、あーマンコ、マンコマンコ、あーマンコマンコ、マンコいく、マンコいく、あーイクイクイク、あーイクイクイク、マンコマンコ、マンコイク、マンコイクーっ！

サダちゃん！サダちゃん！起きろ！起きろったら！
サダちゃん、大変だよ。

う〜ん、どうした〜？ゆうべ、張り切り過ぎて疲れてんだよ。
もう少し寝かせてくれ。眠い、眠いんだよ〜。

もう、それどころじゃ無いんだよ。
居ない。男が居ないんだよ。オラも、ウトウトしてたら、男が居なくなつとる。
逃げた、逃げちまってるよ。

えっ！ホントか？そりゃ大変だ。ヒヒヒ。
何てな。大丈夫だよ。まだ夜が明けてねえ。あの足じゃ、川は下れねえから、逃げるとすれば村に続く細道だけだよ。あそこらには、罠が十分に仕掛けてあ

るから、まず避ける事は出来ねえ筈だ。
それに、今追いかけて行っても、ウチらが罌に掛っちまうぞ。
あつ、聞えたか？
ほら、男の悲鳴が聞こえて来た。ヒヒヒ。

あーホントだねえ～。ヒヒヒ、悲鳴が聞こえるよ。
ありゃ、またトラバサミに掛かったみたいだな。

そうそう、二回目となりゃ、自分で外せたとしても、もう遠くはおろか、
二、三步も歩けねえよ。ヒヒヒ。

助けに行かなくてもいいだか？

あーほっとけ。明るくなってボチボチ行けばいいさ。傷の手当？
ふん、もう足の事は気にすんな。ウチらは、チンポさえ大丈夫だったらいいんだからな。

それもそうだな。

ヒヒヒ、イヒヒヒ。